

知名町 学校施設長寿命化計画

平成31年3月

知名町教育委員会

目次

1. 学校施設長寿命化計画の背景・目的等	1
1-1 背景	1
1-2 目的	1
1-3 計画期間.....	1
1-4 対象施設.....	1
2. 学校施設の目指すべき姿	2
2-1 目指すべき姿	2
3. 学校施設の実態	3
3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	3
3-2 学校施設の老朽化状況の実態.....	11
4. 学校施設整備の基本的な方針等	13
4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	13
4-2 改修等の基本的な方針.....	15
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	16
5-1 改修等の整備水準	16
5-2 維持管理の項目・手法等	16
6. 長寿命化の実施計画	17
6-1 改修等の優先順位付けと実施計画	17
6-2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	17
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	18
7-1 情報基盤の整備と活用.....	18
7-2 推進体制等の整備	18
7-3 フォローアップ.....	18

1. 学校施設長寿命化計画の背景・目的等

1-1 背景

本町においては、老朽化が進行している公共施設が数多く存在しており、非常に厳しい財政状況の中、今後の老朽化対策にかかる財政負担は重要な課題となっています。また、少子高齢化、人口減少も進む中、公共施設の適正な配置、計画的な維持管理・更新による財政負担の軽減・平準化を進めていく必要があります。

これらを踏まえて、本町では、平成 27 年度「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点をもって計画的に更新・統廃合・長寿命化などを行うことで、財政負担の軽減・平準化につなげることを目的とし、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進していくための基本方針を取りまとめました。今回、個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、「学校施設長寿命化計画」を策定することとしました。

1-2 目的

本計画は、安全で機能的な学習環境を整備するとともに、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的とします。

1-3 計画期間

本計画では、2020 年度から 2029 年度までの 10 年間を計画期間とします。
ただし、進捗管理は毎年行い、必要に応じて見直しを行うものとします。

1-4 対象施設

小学校 5 校、中学校 2 校、給食センター、教員住宅の 60 棟、2.5 万㎡を対象としました。

■巻末資料 建物情報一覧表 参照

2. 学校施設の目指すべき姿

2-1 目指すべき姿

学校施設は毎日児童生徒が利用する施設であるとともに、地域コミュニティの拠点として、また、災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設です。

本計画の実施にあたっては、以下を目標として整備を進めることとします。

- ・安全の確保 耐震性の確保、災害時避難所としての機能
- ・快適性の確保 勉学に集中でき、ストレスなく学校生活を送れる環境整備
- ・バリアフリー化 要支援者に配慮した環境整備
- ・長期的な人口減少動向を踏まえた施設整備

3. 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 対象施設の利活用状況

【小中学校】

① 目的利用における稼働日数

学校施設は、土曜、日曜、祝祭日、学校休業日を除く年間約 200 日。

② 目的外利用の利用状況

上記休業日あるいは平日の夕方は、学校施設（校庭、体育館、特別教室等）を学校教育以外の目的で利用することができます。

地域行事、イベント、スポーツの練習などで利用されています。

③ 余裕教室の利活用

児童生徒数の減少により発生した余裕教室は、多目的教室、特別支援学級等に利活用されています。

④ 災害時避難所としての利用

災害時には、避難所として開放されます。

【給食センター】

学校休業日を除く年間約 200 日、知名町内の 5 小学校、2 中学校の生徒児童、教職員へ給食を提供しています。

・一日あたり提供数（児童生徒・教職員数）約 700 食

・運営職員数 12 人（所長 1、事務 1、栄養教諭 1、調理員 8）

【教員住宅】

知名町内の 5 小学校、2 中学校の教職員用に住宅を提供しています。

・教職員数 75 人

・教職員住宅数 27 戸

(2) 児童生徒数及び学級数の変化

過去 30 年で生徒児童数は 530 人減少し、30 年前の半分になっています。将来推計における 0-14 歳人口は、今後 30 年でさらに 6 割減になると予測されており、その増減率を適用し各学校の生徒数を推計すると以下のようになります。

児童生徒	これまでの推移 (人)							将来推計 (人)					
	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
知名小	386	406	327	216	198	201	183	169	148	127	106	87	72
下平川小	145	159	121	90	124	94	96	89	78	67	55	46	38
上城小	42	43	45	48	34	19	28	26	23	19	16	13	11
住吉小	96	83	82	66	64	48	39	36	32	27	23	19	15
田皆小	91	111	107	73	36	49	40	37	32	28	23	19	16
小学校合計	760	802	682	493	456	411	386	357	313	268	223	184	152
知名中	250	238	251	184	131	161	140	130	113	97	81	67	55
田皆中	85	97	116	120	79	62	39	36	32	27	23	19	15
中学校合計	335	335	367	304	210	223	179	166	145	124	104	86	70
総合計	1,095	1,137	1,049	797	666	634	565	523	458	392	327	270	222

■出典 知名町 Web サイト 児童・生徒数推移

職員数 学級数	2018 年度		
	職員数	学級数	
知名小	14	8 (2)	
下平川小	12	8 (2)	
上城小	6	3	複式
住吉小	10	7 (1)	
田皆小	8	5 (1)	複式
知名中	15	8 (2)	
田皆中	10	4 (1)	

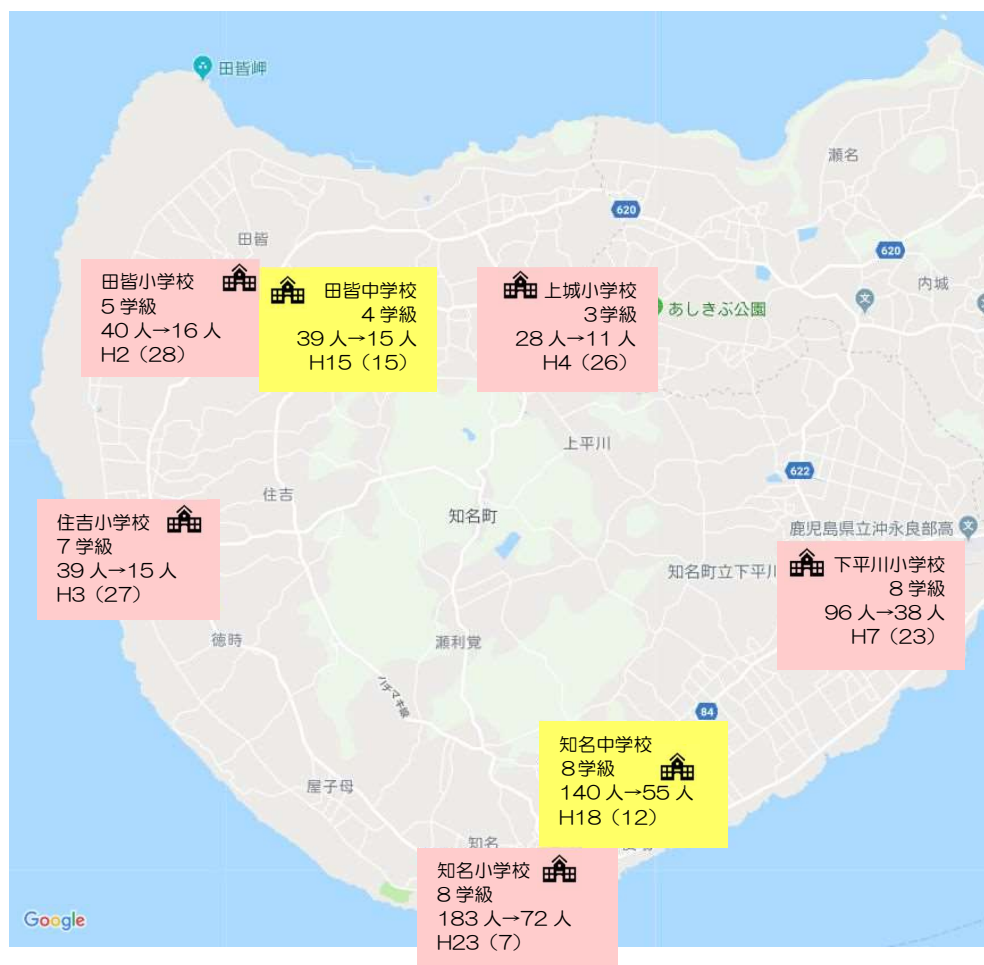
※児童生徒数の将来推計に関しては、国立社会保障人口問題研究所による将来人口推計 男女・年齢 (5 歳) 階級別の推計結果一覧 (平成 30 年推計) における 0-14 歳人口の増減率を乗じて求めました。

■鹿児島県教育委員会 公立学校一覧表 (学級数・児童生徒数)

※学級編制や 1 学級の児童・生徒数についての「基準」は、義務標準法 (公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律) 第 3 条で「学級編制の標準」として 1 学級 40 人 (小学校 1 年生は 35 人) を標準と定めています。

※「児童又は生徒の数が著しく少ないかその他特別の事情がある場合においては、数学年の児童又は生徒を一学級に編制することができる」とされています。複式学級については、小学校では、2 つの学年の子どもの数をあわせて 16 人 (1 年生を含む場合は 8 人)、中学校では、2 つの学年の子どもの数をあわせて 8 人を標準として定めています。子どもの数がこれを下回るようであれば、複式学級として編制することができるというものです。

(3) 学校施設の配置状況



学校名
2018年の学級数
2015年生徒数→2045年予測生徒数
代表建物建築年度(築年数)

(4) 施設関連経費の推移

◆学校施設関係の経費 千円/年

学校施設関係経費 (単位：千円)	H26	H27	H28	H29	H30	平均
	2014	2015	2016	2017	2018	
施設整備費	405,261	227,016	367,405	161,506	0	232,238
その他施設関連費						-
維持修繕費	12,220	8,193	7,319	8,626	15,770	10,425
光熱水費・委託費	-	24,424	25,316	27,212	29,444	26,599

学校施設関係経費	経費の出典	
施設整備費	学校施設整備費、 施設整備事業費	主に建物の整備にかかる経費
その他施設関連費		上記以外の経費
維持修繕費	学校管理費 教員宿舍管理費	需用費__施設修繕料、需用費__その他修繕料 等から抽出
光熱水費・委託費	給食センター運営費	需用費__光熱水費、委託料

◆直近の施設整備状況

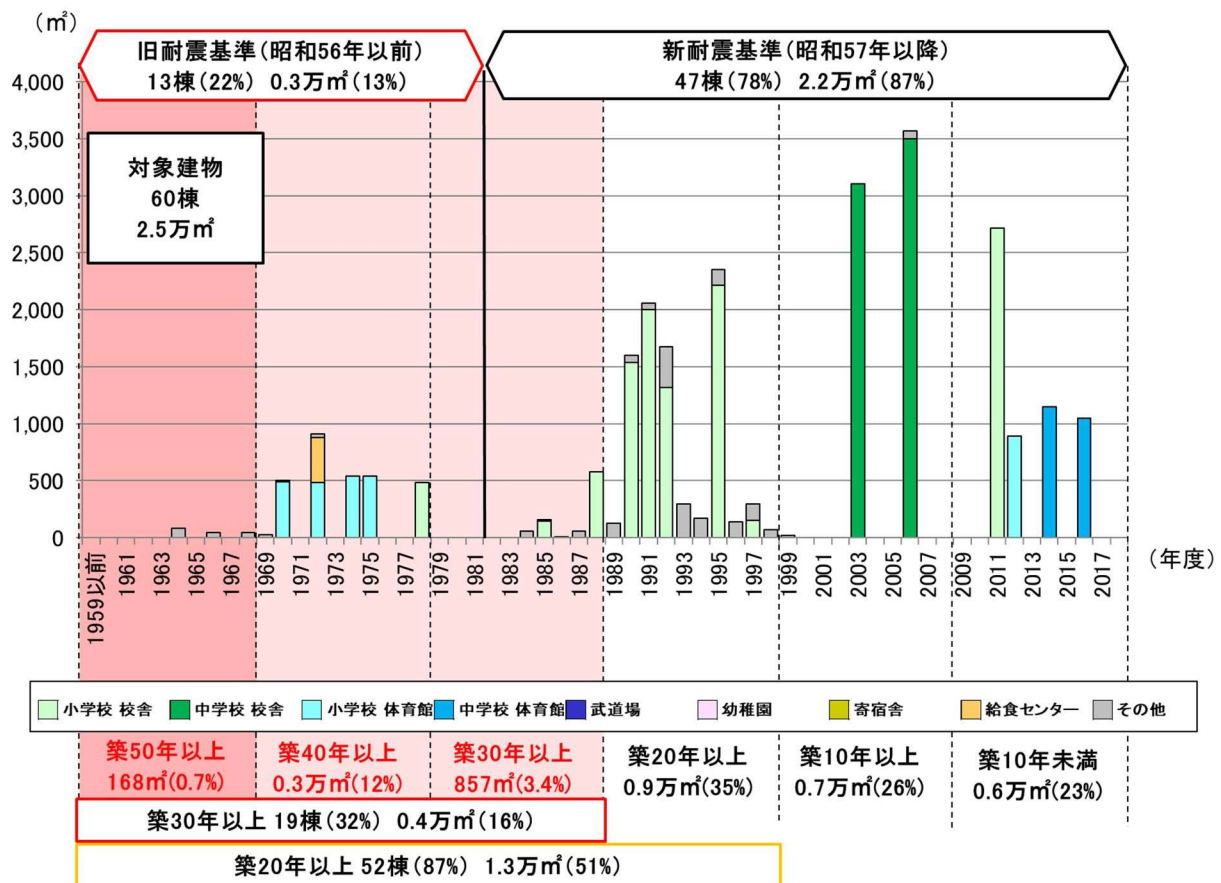
年度	主な整備内容
H23	知名小学校 校舎建て替え
H24	知名小学校 体育館建替え
H25	
H26	知名中学校 体育館建替え、田皆小学校舎耐震改修
H27	住吉小学校 体育館改修
H28	田皆中学校 体育館建替え
H29	上城小学校 体育館大規模改造、校舎修繕
H31	給食センター 建替え

(5) 学校施設の保有量

対象建物は 60 棟 総延床面積 2.5 万㎡、そのうち、旧耐震基準で整備された建物が 19 棟あります。

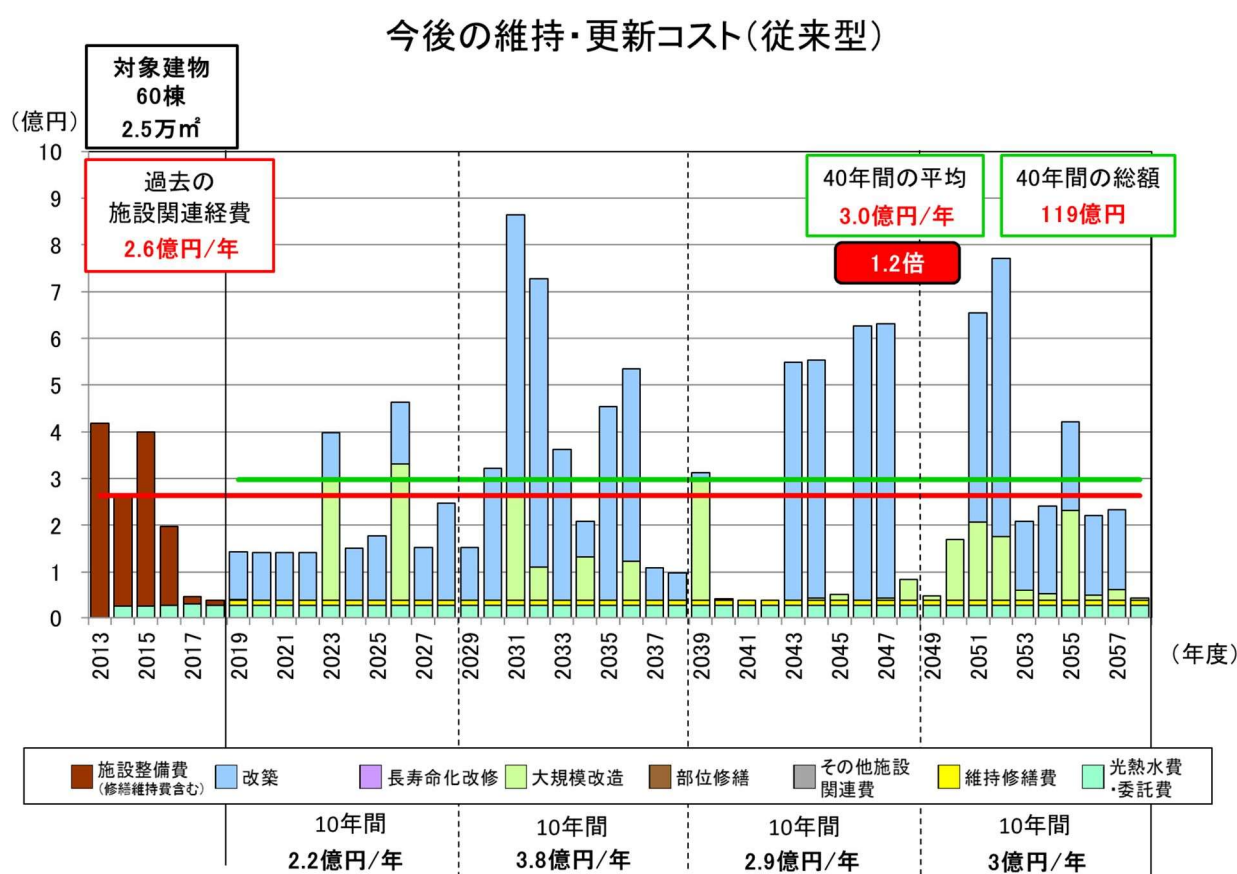
比較的新しい建物が多いですが、その中で築 50 年以上を経過しているものは 4 棟あり、最も古いのは 1964 年（昭和 39 年）に建設した教員住宅です。

築年別整備状況



(6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

全ての建物を現状規模のまま、大規模改修及び建替えを行った場合、将来必要となる更新費用は今後 40 年間の総額で 119 億円、今後 10 年間では 1.9 億円／年となります。



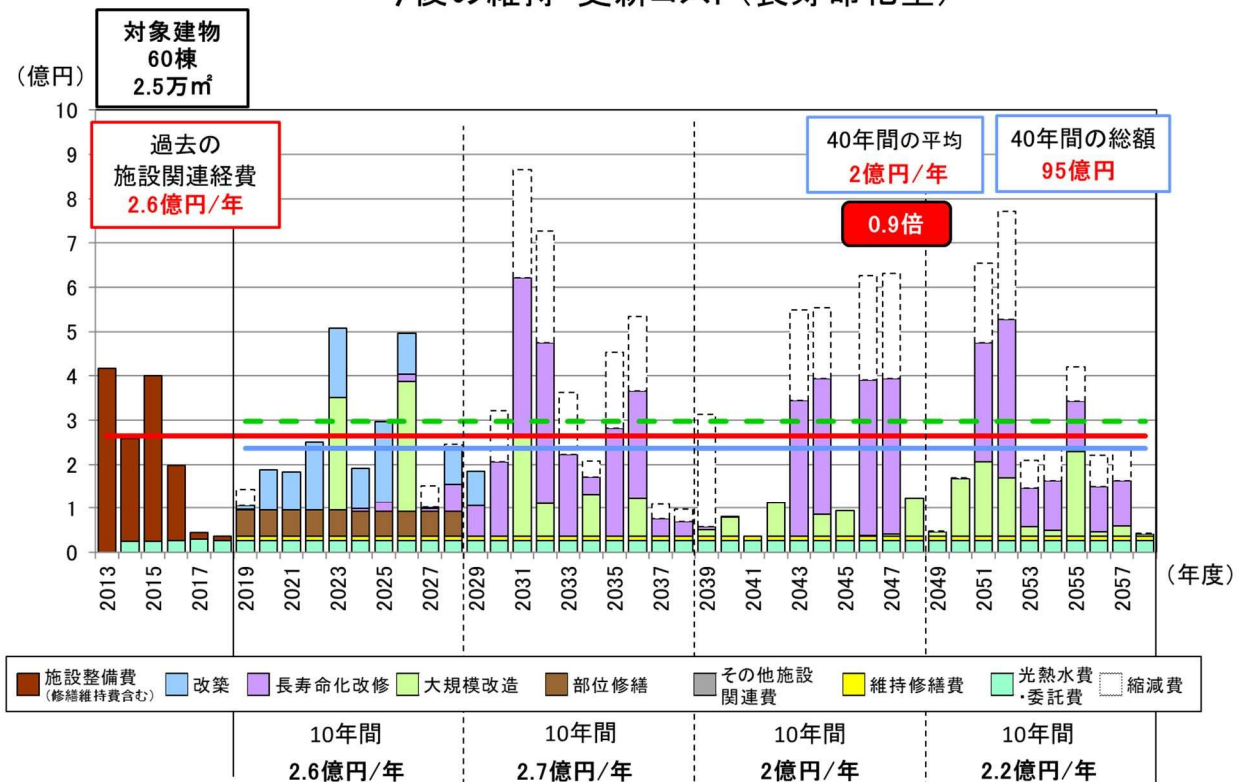
■コスト試算条件（従来型）

	改築	大規模改造
更新周期	50 年	20 年周期
改築単価	330,000 円/㎡	改築の 25%
工事期間	2 年	1 年
備考	実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施	-

(7) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

従来の改築中心ではなく、予防保全的に長寿命化対策を行い、建物を 80 年使用した場合の維持・更新コストを算出しています。その結果、40 年間の維持・更新コストは 95 億円となり、従来型の場合より、24 億円の削減が見込まれます。

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



■コスト試算条件（長寿命化型）

	改築	長寿命化改修	大規模改造	部位修繕
更新周期	80 年	40 年	20 年周期	躯体以外の劣化状況調査結果が、 D⇒今後 5 年以内に修繕を実施 C⇒今後 10 年以内に修繕を実施 A⇒今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く
改築単価	330,000 円/㎡	改築の 60%	改築の 25%	
工事期間	2 年	2 年	1 年	
備考	実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施	実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施	改築、長寿命化改修の前後 10 年間に重なる場合は実施しない	

(8) 運営状況・活用状況等の実態を踏まえた課題の整理

①児童生徒の減少

- 複式学級が発生し、必要な教育条件を確保することが困難な場合があります。
- 今後さらに空き教室がでてくることが予測されます。
- 将来的には統廃合等の検討も必要となります。

②劣化状況

- 校舎は、平成以降に建替えたものが多く、耐震性等が確保されています。
- 教員住宅、給食センター、体育館などで旧耐震基準以前に建築されたものが多くあり、老朽化が進んでいます。

③更新費用の財源確保

- 将来予測のグラフ（従来型）を見ると、今後 20 年後の 2040 年くらいから、校舎の改修に伴う経費が集中し、大きな山となっており、この時期に集中しないよう計画的に長寿命化等に取り組み、負担の平準化を行っていく必要があります。

3-2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体以外の劣化状況等の評価

学校施設の長寿命化策定に係る解説書における調査要領を参考に、以下の調査表を用いて建物の劣化状況を点数化し、A～Dの4段階にランク分けを行い、劣化状況の評価を行いました。

調査日		記入者		健全度	0	/100点
-----	--	-----	--	-----	---	-------

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (年度、内容)	劣化状況	箇所数	特記事項	評価		
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水		☐ 降雨時に雨漏りがある			A ☐		
	☐ アスファルト露出防水		☐ 天井等に雨漏り痕がある					
	☐ シート防水、塗膜防水		☐ 防水層にヒビ・破れ等がある					
	☐ 勾配屋根（瓦・金属板、折板）		☐ 屋根葺材に腐・損傷がある					
	☐ 勾配屋根（スレート、瓦類）		☐ 柱木・立上り等に損傷がある					
	☐ その他の屋根		☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない					
	最終工事年度			☐ 既存点検等で指摘がある				
2 外壁	☐ 塗仕上げ		☐ 鉄筋が見えているところがある			A ☐		
	☐ タイル張り、石張り		☐ 外壁から漏水がある					
	☐ 金属系パネル		☐ 塗膜の剥がれ					
	☐ コンクリート系パネル（ALC等）		☐ タイルや石が割れている					
	☐ その他の外壁		☐ 大きな亀裂がある					
	☐ アルミ製サッシ		☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある					
	☐ 鋼製サッシ		☐ 窓・ドアに腐・腐食・変形がある					
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス		☐ 外部手すり等の錆・腐食					
	最終工事年度			☐ 既存点検等で指摘がある				
	部位		修繕・点検項目	改修年度			特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上	☐ 老朽改修			A ☐				
	☐ エコ改修							
	☐ 法令適合							
	☐ 空調設置							
	☐ 防犯対策							
	☐ 構造体の耐震対策							
	☐ 非構造部材の耐震対策							
4 電気設備	☐ その他、内部改修工事			A ☐				
	☐ 分電盤改修							
	☐ 配線等の敷設工事							
5 機械設備	☐ 昇降設備保守点検			A ☐				
	☐ その他、電気設備改修工事							
	☐ 給水配管改修							
全体 特記事項	☐ 排水配管改修			A ☐				
	☐ 消防設備の点検							
☐ その他、機械設備改修工事								

■巻末資料 劣化状況評価結果 参照

4. 学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 公共施設等総合管理計画における基本方針

【平成 27 年度 知名町公共施設等総合管理計画より一部抜粋】

第3節 基本方針

1.中長期的な視点でのマネジメント

(1)建物系公共施設

- ・公共施設等の更新費用推計結果により、過去 5 年間の既存更新分投資的経費と更新費用を比較すると一年あたり 4.6 億円の不足が発生します。そこで、本計画で掲げる取組みを実施し、更新費用を今後 40 年間で、約 30%削減することを目指します。
- ・施設の統合・整理や遊休施設の活用、学校を含めた施設の複合化等によって、機能を維持しつつ、施設総量を縮減します。
- ・用途が重複している施設、分野を越えて重複している機能（会議室、ホール等）については、統合・整理を検討します。
- ・新設が必要な場合は、中長期的な総量規制の範囲内で、費用対効果を考慮して行います。

6.維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・指定管理者制度の導入などの民間ノウハウを活用する取り組みを検討し、施設の維持管理の効率化やサービスの向上を行います。
- ・計画的な予防保全型の管理を行うことにより、トータルコストの縮減を図るとともに、大規模改修等の実施にあたっては、緊急性・重要性等を踏まえて実施時期の調整を行うことにより、財政負担の平準化を図ります。

7.安全確保の実施方針

- ・点検・診断等により危険性が認められた施設については、立入禁止等の安全措置を実施し、利用者の安全確保を図ります。
- ・今後も継続利用する施設については、緊急性・重要性を勘案し、必要な改修工事等を実施します。

8.耐震化の実施方針

- ・防災拠点となる庁舎及び災害時避難所に指定されている施設については、耐震診断及び耐震改修工事を計画的に実施し、災害時の安全を確保します。

(2) 今後の学校施設の規模・配置計画等の方針

以下の手順で整備方針を決定し、施設の縮減を進めていきます。

①再配置の検討

施設のあり方について検討する。

統廃合	複数の学校を統合する。
共用化	一部機能を地域利用もできるようにし、施設数を減らす。(図書館、体育館、特別教室等) 一部機能を一か所に整備し、各学校で共用利用する(プール等)
複合化	空き教室などに、他機能を取込み、複数施設を集約する。

②改修等の手法の検討

長寿命化または改築等の整備方針について検討する。

長寿命化改修	既存施設を延命化する。
改築	現在の面積を超えない範囲で建替え。
減築	不要部分(棟)を部分的に取り壊すことで面積縮減する。

4-2 改修等の基本的な方針

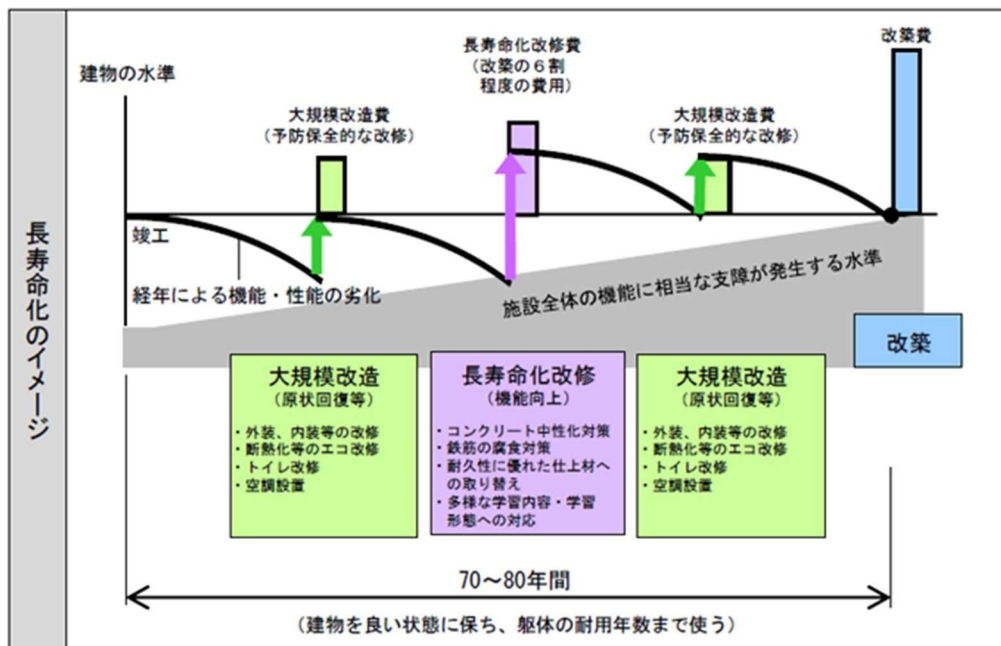
(1) 長寿命化の方針

中長期的な維持管理にかかるトータルコストの削減、予算の平準化を実現するために以下に示すような建物を除き、長寿命化改修を実施します。

- ・鉄筋コンクリートの劣化が激しく、改築した方が安価となる建物
- ・コンクリート強度が著しく低い建物（13.5N/mm²）以下
- ・基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している建物
- ・校地環境の安全性が欠如している建物
- ・学校施設の適正配置など地域の実情により改修せざるを得ない建物

(2) 目標使用年数、改修周期の設定

目標 使用年数	大規模 改修 1	長寿命化 改修	大規模 改修 2
80 年	20 年	40 年	60 年



5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

安全性の確保を最優先とし、健全度の低いもので、利用度の高いものから整備を行うものとします。整備の際には、以下の内容について考慮するものとします。

- 耐震性の確保を行う。
- 災害時避難所としての機能を確保する。
- バリアフリー対応を行う。
- 勉学に集中でき、ストレスなく学校生活を送れる環境整備を行う。
- 将来的な人口動向を考慮した設計を行う。

5-2 維持管理の項目・手法等

劣化度調査で用いた調査表を用いて調査点検を3～5年に1回を目安に、定期的を実施することとします。

6. 長寿命化の実施計画

6-1 改修等の優先順位付けと実施計画

以下の順に整備計画に落とし込みます。

- 耐震性のないものの建替え・耐震改修
- 劣化状況評価による健全度が低いもの（D・C判定）の建替え・改修
- 上記に付随して同時に整備するのが望ましい、部分改修

6-2 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

今後の実施計画について以下の単価で試算しました。

設計額がわかっている場合には、設計額を使用します。

	改築	長寿命化改修	大規模改造	解体
	総務省単価	改築の 60%	改築の 25%	
学校 体育館	330,000 円/㎡	198,000 円/㎡	82,500 円/㎡	44,000 円/㎡
住宅	280,000 円/㎡	168,000 円/㎡	70,000 円/㎡	35,000 円/㎡
備考	知名小学校校舎建替え実績 343,000 円/㎡のため、上記単価で妥当であると判断。			建築保全センター資料、直近の解体実績から設定

■ 巻末資料 個別施設の整備計画 参照

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

7-1 情報基盤の整備と活用

- 光熱水費などの維持管理費、法定点検や日常点検の記録、工事履歴等の施設情報に関して、公共施設マネジメントシステムにて一元管理を行います。

7-2 推進体制等の整備

- 施設管理担当者は、日常点検や定期点検を行い、老朽化箇所や危険個所の早期発見を実現します。
- 財政係など関係部署と連携を図り、予算の調整や施設統廃合の調整を行います。

7-3 フォローアップ

- 本計画は公共施設等総合管理計画の実行計画となり、学校施設の改修や優先順位を設定するものです。
- 上位計画の方針の変更や、社会情勢の変化、利用者ニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、定期的に見直しを行うものとします。

別添資料

建物情報一覧表
劣化状況評価結果
個別施設の整備計画

建物情報一覧表

基準

 : 築50年以上
 : 築30年以上

2018

建物基本情報											
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
				学校種 別	建物用 途				西暦	和暦	
1		知名小学校	003_校舎	小学校	校舎	RC		2,716	2011	H23	7
2		知名小学校	000_屋内運動場	小学校	体育館	RC		894	2012	H24	6
3		知名小学校	014_校舎	小学校	校舎	RC		576	1988	S63	30
4		知名小学校	010_プール専用付属室	小学校	その他	S		24	1969	S44	49
5		知名小学校	013_プール専用付属室	小学校	その他	RC		11	1985	S60	33
6		住吉小学校	011_校舎	小学校	校舎	RC		2,000	1991	H3	27
7		住吉小学校	008_屋内運動場	小学校	体育館	RC		486	1972	S47	46
8		住吉小学校	010_図書館	小学校	校舎	RC		145	1985	S60	33
9		住吉小学校	012_便所	小学校	その他	RC		21	1994	H6	24
10		住吉小学校	013_校舎	小学校	校舎	W		20	1999	H11	19
11		田皆小学校	010_校舎	小学校	校舎	RC		1,539	1990	H2	28
12		田皆小学校	008_校舎	小学校	校舎	RC		484	1978	S53	40
13		田皆小学校	009_屋内運動場	小学校	体育館	RC		537	1974	S49	44
14		田皆小学校	011_倉庫	小学校	その他	RC		16	1993	H5	25
15		上城小学校	012_校舎	小学校	校舎	RC		1,315	1992	H4	26
16		上城小学校	006_体育倉庫	小学校	その他	S		15	1970	S45	48
17		上城小学校	007_屋内運動場	小学校	体育館	RC		537	1975	S50	43
18		上城小学校	011_体育館便所	小学校	その他	RC		5	1986	S61	32
19		上城小学校	013_校舎	小学校	校舎	RC		151	1997	H9	21
20		上城小学校	014_校舎	小学校	校舎	W		8	1994	H6	24
21		下平川小学校	006_校舎	小学校	校舎	RC		2,215	1995	H7	23
22		下平川小学校	005_屋内運動場	小学校	体育館	RC		488	1970	S45	48
23		下平川小学校	011_プール専用付属室	小学校	その他	RC		60	1984	S59	34
24		下平川小学校	012_体育館便所	小学校	その他	RC		4	1989	H元	29
25		知名中学校	018_校舎	中学校	校舎	RC		3,500	2006	H18	12
26		知名中学校	016_プール専用付属室	中学校	その他	RC		60	1989	H元	29
27		知名中学校	019_部室	中学校	その他	S		69	2006	H18	12
28		知名中学校	010_屋内運動場	中学校	体育館	RC		1,148	2014	H26	4
29		田皆中学校	017_校舎	中学校	校舎	RC		3,104	2003	H15	15
30		田皆中学校	013_校舎	中学校	校舎	S		32	1972	S47	46
31		田皆中学校	016_校舎	中学校	校舎	W		6	1997	H9	21
32		田皆中学校	屋内運動場	中学校	体育館	RC		1,045	2016	H28	2

建物情報一覧表

基準

：築50年以上 ：築30年以上

2018

建物基本情報											
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
				学校種 別	建物用 途				西暦	和暦	
33		住宅 知名小	24(知名2043)	その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26
34		住宅 知名小	25(知名2043)	その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26
35		住宅 住吉小	21(住吉2439)	その他	寄宿舍	S		42	1964	S39	54
36		住宅 住吉小	22(住吉2516)	その他	寄宿舍	RC		61	1989	H元	29
37		住宅 住吉小	23(正名1199-3)	その他	寄宿舍	RC		70	1993	H5	25
38		住宅 住吉小	24(正名1199-3)	その他	寄宿舍	RC		70	1993	H5	25
39		住宅 住吉小	25(徳時589-8)	その他	寄宿舍	RC		70	1997	H9	21
40		住宅 住吉小	26(徳時589-8)	その他	寄宿舍	RC		70	1997	H9	21
41		住宅 田皆小	教員住宅 22	その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26
42		住宅 田皆小	教員住宅 23	その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26
43		住宅 田皆小	教員住宅 24	その他	寄宿舍	RC		70	1996	H8	22
44		住宅 田皆小	教員住宅 25	その他	寄宿舍	RC		70	1996	H8	22
45		住宅 上城小	22(上城223)	その他	寄宿舍	RC		60	1991	H3	27
46		住宅 上城小	23(上城223-1)	その他	寄宿舍	RC		70	1994	H6	24
47		住宅 上城小	24(新城674-2)	その他	寄宿舍	RC		70	1994	H6	24
48		住宅 下平川小	21(下平川423-1)	その他	寄宿舍	S		42	1964	S39	54
49		住宅 下平川小	22(下平川423-1)	その他	寄宿舍	S		42	1966	S41	52
50		住宅 下平川小	23(下平川423-1)	その他	寄宿舍	RC		60	1987	S62	31
51		住宅 下平川小	24(下平川350-3)	その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26
52		住宅 下平川小	25(下平川350-3)	その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26
53		住宅 下平川小	26(下平川350-3)	その他	寄宿舍	RC		70	1998	H10	20
54		住宅 知名中	21(瀬利覚476-1)	その他	寄宿舍	S		42	1968	S43	50
55		住宅 知名中	23(瀬利覚479)	その他	寄宿舍	RC		61	1990	H2	28
56		住宅 知名中	24(知名2078)	その他	寄宿舍	RC		70	1995	H7	23
57		住宅 知名中	25(知名2078)	その他	寄宿舍	RC		70	1995	H7	23
58		住宅 田皆中	24(田皆3256)	その他	寄宿舍	RC		70	1993	H5	25
59		住宅 田皆中	25(田皆3256)	その他	寄宿舍	RC		70	1993	H5	25
60		給食センター	給食センター	その他	給食セン ター	RC		395	1972	S47	46

劣化状況評価結果(健全度が低い順)

■:築50年以上 □:築30年以上

基準 2018

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価						備考		
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内部 仕上	電気 設備		機械 設備	健全度 (100点 満点)
						学校種 別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ mm ²)	試算上 の区分							
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産	学校種 別	建物用途	構造	階数	延床面 積	西暦	和暦	築年 数	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)	備考
22		下平川小学校	005_屋内運動場			小学校	体育館	RC		488	1970	S45	48	旧	済				改築	D	D	D	D	D	10	R2改修済み
48		住宅 下平川小	21(下平川423-1)			その他	寄宿舍	S		42	1964	S39	54	旧	-	-			改築	D	D	D	D	D	10	R6取り壊し済み
49		住宅 下平川小	22(下平川423-1)			その他	寄宿舍	S		42	1966	S41	52	旧	-	-			改築	D	D	D	D	D	10	R6取り壊し済み
54		住宅 知名中	21(瀬利覚476-1)			その他	寄宿舍	S		42	1968	S43	50	旧	-	-			改築	D	D	D	D	D	10	取り壊しR10予定
60		給食センター	給食センター			その他	給食センター	RC		395	1972	S47	46	旧	済	-			改築	D	D	D	D	D	10	R2建替え済み
13		田皆小学校	009_屋内運動場			小学校	体育館	RC		537	1974	S49	44	旧	済				改築	D	D	C	C	C	29	改修予定なし
50		住宅 下平川小	23(下平川423-1)			その他	寄宿舍	RC		60	1987	S62	31	新	-	-			長寿命	C	C	D	C	C	29	
53		住宅 下平川小	26(下平川350-3)			その他	寄宿舍	RC		70	1998	H10	20	新	-	-			長寿命	C	C	D	C	C	29	
35		住宅 住吉小	21(住吉2439)			その他	寄宿舍	S		42	1964	S39	54	旧	-	-			改築	C	D	C	C	C	31	取り壊しR10予定
55		住宅 知名中	23(瀬利覚479)			その他	寄宿舍	RC		61	1990	H2	28	新	-	-			長寿命	D	C	C	C	C	37	
6		住吉小学校	011_校舎			小学校	校舎	RC		2,000	1991	H3	27	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
8		住吉小学校	010_図書館			小学校	校舎	RC		145	1985	S60	33	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
9		住吉小学校	012_便所			小学校	その他	RC		21	1994	H6	24	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
10		住吉小学校	013_校舎			小学校	校舎	W		20	1999	H11	19	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
11		田皆小学校	010_校舎			小学校	校舎	RC		1,539	1990	H2	28	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
12		田皆小学校	008_校舎			小学校	校舎	RC		484	1978	S53	40	旧	済	済			改築	C	C	C	C	C	40	H26改修済み
20		上城小学校	014_校舎			小学校	校舎	W		8	1994	H6	24	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
21		下平川小学校	006_校舎			小学校	校舎	RC		2,215	1995	H7	23	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
23		下平川小学校	011_プール専用付属室			小学校	その他	RC		60	1984	S59	34	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
26		知名中学校	016_プール専用付属室			中学校	その他	RC		60	1989	H元	29	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
30		田皆中学校	013_校舎			中学校	校舎	S		32	1972	S47	46	旧	-	-			改築	C	C	C	C	C	40	
31		田皆中学校	016_校舎			中学校	校舎	W		6	1997	H9	21	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
33		住宅 知名小	24(知名2043)			その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
34		住宅 知名小	25(知名2043)			その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
36		住宅 住吉小	22(住吉2516)			その他	寄宿舍	RC		61	1989	H元	29	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
37		住宅 住吉小	23(正名1199-3)			その他	寄宿舍	RC		70	1993	H5	25	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
38		住宅 住吉小	24(正名1199-3)			その他	寄宿舍	RC		70	1993	H5	25	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
39		住宅 住吉小	25(徳時589-8)			その他	寄宿舍	RC		70	1997	H9	21	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
40		住宅 住吉小	26(徳時589-8)			その他	寄宿舍	RC		70	1997	H9	21	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
41		住宅 田皆小	教員住宅 22			その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
42		住宅 田皆小	教員住宅 23			その他	寄宿舍	RC		60	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
43		住宅 田皆小	教員住宅 24			その他	寄宿舍	RC		70	1996	H8	22	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	

劣化状況評価結果(健全度が低い順)

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

基準 2018

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価						備考		
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定 資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備		機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
						学校種 別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ mm ²)	試算上 の区分							
44		住宅 田皆小	教員住宅 25			その他	寄宿舎	RC		70	1996	H8	22	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
45		住宅 上城小	22(上城223)			その他	寄宿舎	RC		60	1991	H3	27	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
46		住宅 上城小	23(上城223-1)			その他	寄宿舎	RC		70	1994	H6	24	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
47		住宅 上城小	24(新城674-2)			その他	寄宿舎	RC		70	1994	H6	24	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
51		住宅 下平川小	24(下平川350-3)			その他	寄宿舎	RC		60	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
52		住宅 下平川小	25(下平川350-3)			その他	寄宿舎	RC		60	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
56		住宅 知名中	24(知名2078)			その他	寄宿舎	RC		70	1995	H7	23	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
57		住宅 知名中	25(知名2078)			その他	寄宿舎	RC		70	1995	H7	23	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
58		住宅 田皆中	24(田皆3256)			その他	寄宿舎	RC		70	1993	H5	25	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
59		住宅 田皆中	25(田皆3256)			その他	寄宿舎	RC		70	1993	H5	25	新	-	-			長寿命	C	C	C	C	C	40	
16		上城小学校	006_体育倉庫			小学校	その他	S		15	1970	S45	48	旧	-	-			改築	A	B	C	C	C	55	
15		上城小学校	012_校舎			小学校	校舎	RC		1,315	1992	H4	26	新	-	-			長寿命	C	B	B	C	C	63	
27		知名中学校	019_部室			中学校	その他	S		69	2006	H18	12	新	-	-			長寿命	C	B	B	C	C	63	
3		知名小学校	014_校舎			小学校	校舎	RC		576	1988	S63	30	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	H24改修済み
4		知名小学校	010_プール専用付属室			小学校	その他	S		24	1969	S44	49	旧	-	-			改築	B	B	B	B	B	75	R1建替え済み
5		知名小学校	013_プール専用付属室			小学校	その他	RC		11	1985	S60	33	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	R1建替え済み
14		田皆小学校	011_倉庫			小学校	その他	RC		16	1993	H5	25	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
19		上城小学校	013_校舎			小学校	校舎	RC		151	1997	H9	21	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
24		下平川小学校	012_体育館便所			小学校	その他	RC		4	1989	H元	29	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1		知名小学校	003_校舎			小学校	校舎	RC		2,716	2011	H23	7	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
2		知名小学校	000_屋内運動場			小学校	体育館	RC		894	2012	H24	6	新					長寿命	A	A	A	A	A	100	
7		住吉小学校	008_屋内運動場			小学校	体育館	RC		486	1972	S47	46	旧	済	済			改築	A	A	A	A	A	100	H27改修済み
17		上城小学校	007_屋内運動場			小学校	体育館	RC		537	1975	S50	43	旧	済	済			改築	A	A	A	A	A	100	H29.3改修済み
18		上城小学校	011_体育館便所			小学校	その他	RC		5	1986	S61	32	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
25		知名中学校	018_校舎			中学校	校舎	RC		3,500	2006	H18	12	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
28		知名中学校	010_屋内運動場			中学校	体育館	RC		1,148	2014	H26	4	新					長寿命	A	A	A	A	A	100	
29		田皆中学校	017_校舎			中学校	校舎	RC		3,104	2003	H15	15	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
32		田皆中学校	屋内運動場			中学校	体育館	RC		1,045	2016	H28	2	新					長寿命	A	A	A	A	A	100	

個別施設の整備計画

年度 事業名称		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		(百万円)
		R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	
施設 整備 費	新增築事業	知名小 プール更衣室	13													田皆中 住宅1号棟、2号棟	90					
	改築事業	給食センター	765																			
	耐震化事業 (非構造部材の 対策含む)																					
	長寿命化改修									下平川小 校舎	97			田皆小 校舎	70	田皆中 校舎屋根1期	100					
	大規模改造(老朽) 大規模改造(バリアフリー)			下平川小 屋内運動場	162							田皆小 上城小 下平川小	9 27 12	住吉小	27							
	防災関連事業																					
	トイレ整備																					
	空調整備	小中学校 空調整備	150																			
	障害児等対策																					
	特別支援学校の整備																					
	部位修繕											下平川 住宅23 住吉小 住宅22	4 4	知名中 住宅23 知名中 住宅24 知名中 住宅25	4 5 5	田皆中 住宅24 田皆中 住宅25	5 5	知名小 住宅24 知名小 住宅25	4 5	田皆小 住宅22 田皆小 住宅23	4 4	4 4
	解体費													下平川 住宅21 下平川 住宅22 知名中 住宅21	2 2 2					住吉小 住宅21 知名中 住宅21	4 4	
その他施設整備費																						
維持修繕費																						
光熱水費・委託費																						
合 計			928		162		0		0		97		110		117		200		8		16	

直近で予定されている事業以降は、大規模な工事は基本的にないため、劣化が進んでいる教員住宅について、毎年修繕工事を設定し、予防保全的に計画的に整備を行う方針とした。